



# もしもピアノが弾けたなら

本調子

2 / 2

一、もしもピアノが弾けたなら  
思いのすべてを歌にして  
きみに伝えることだろう  
雨が降る日は雨のように  
風吹く夜には風のように  
晴れた朝には晴れやかに  
ただど ぼくにはピアノがない  
きみに聴かせる腕もない  
心はいつでも半開（はんびら）き  
伝える言葉が残される  
アア アー アア… 残される

二、もしもピアノが弾けたなら  
小さな灯（あか）りを一つつけ  
きみに聴かせることだろう  
人を愛したよるこびや  
心が通わぬ悲しみや  
おさえきれない情熱や  
ただど ぼくにはピアノがない  
きみと夢みることもない  
心はいつでも空（から）まわり  
聴かせる夢さえ遠ざかる  
アア アー アア… 遠ざかる